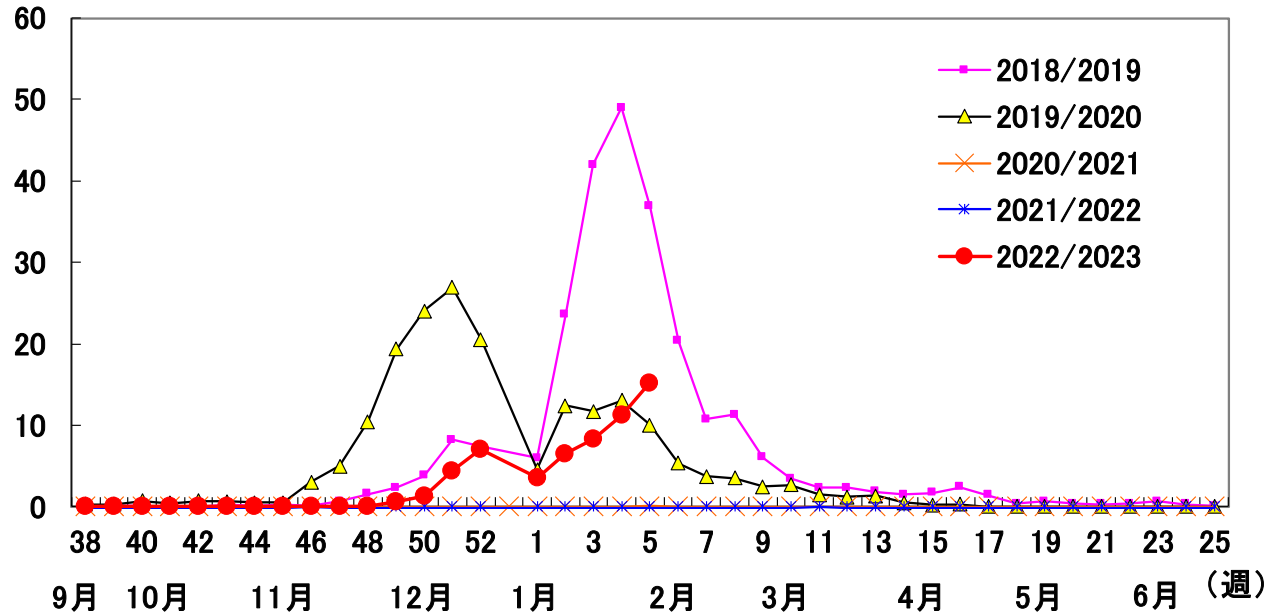


# インフルエンザの発生状況(富山県)

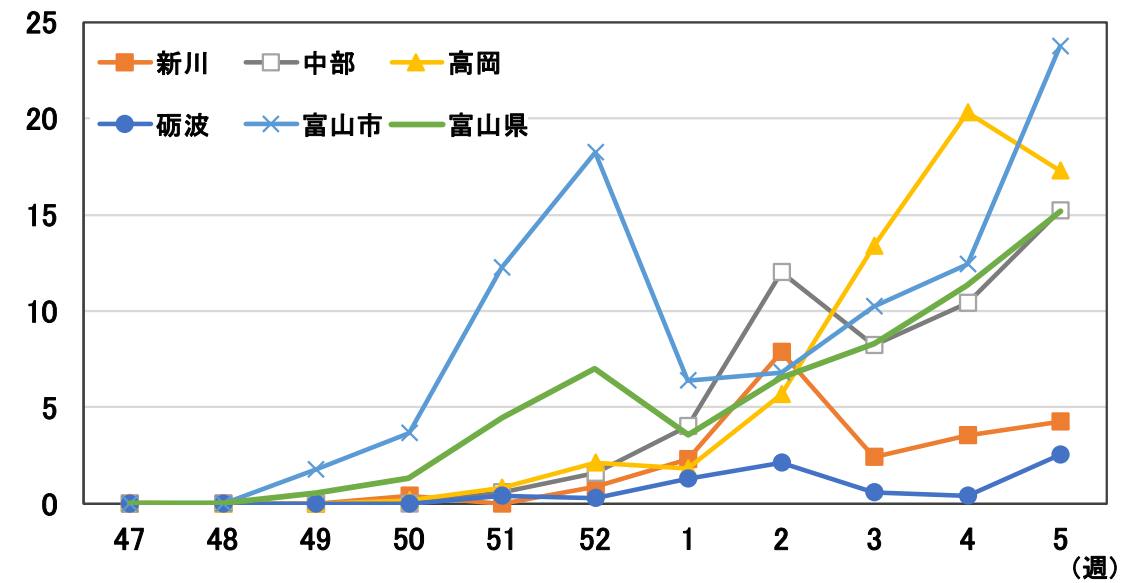
【第5週(2023/1/30~2/5) 感染症発生動向調査速報値 (2023/2/8時点)】

(人/定点)

図1. 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2022/2023)



- 今週の報告数は15.19人/定点となり、先週から注意報発令の基準である10人/定点を超え、増加傾向が継続している(図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、高岡管内(黄色)で減少したものの、他の管内全てで増加した。富山市(23.75人/定点)、高岡(17.31人/定点)、中部(15.20人/定点)で10人/定点を超えている。

図3. 年代別割合(富山県、第5週)

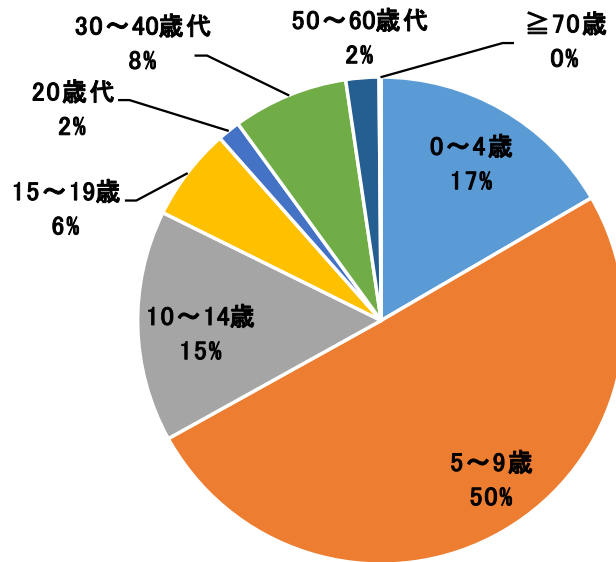
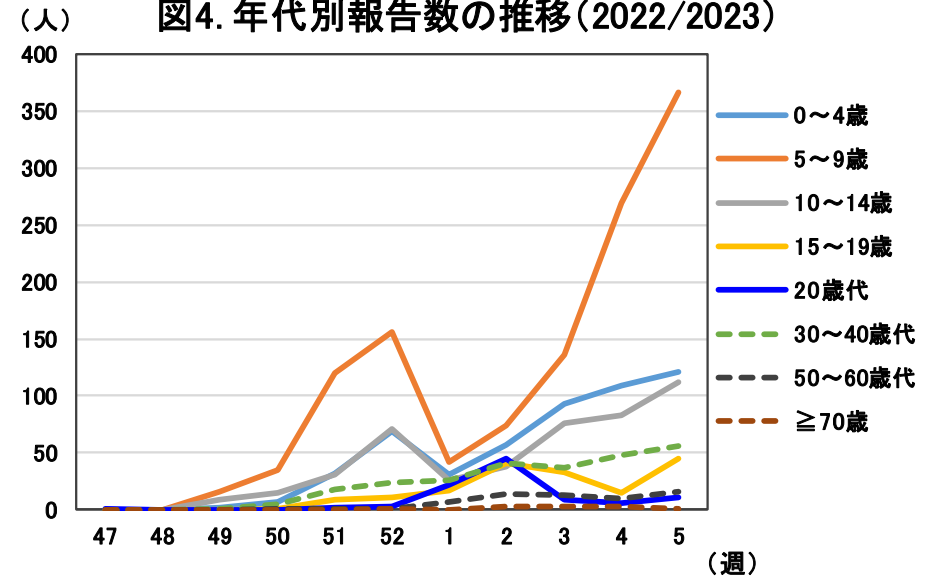


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第5週の年代別割合(図3)では、15歳未満の小児が82%を占めた。その内、5~9歳が50%と最も多い状況。
- 年代別報告数の推移(図4)では、5~9歳の年代(橙色)の報告数が顕著に増加した。0~4歳(水色)、10~14歳(灰色)、15~19歳(黄色)、30~40歳(緑点線)においても報告数が増加した。一方、20歳代、50歳以上の年代はほぼ横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は第5週に小学校16施設、中学校1施設、高等学校2施設で報告されており、小学校での感染が拡大していると考えられる。

(<https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>)

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第4週)

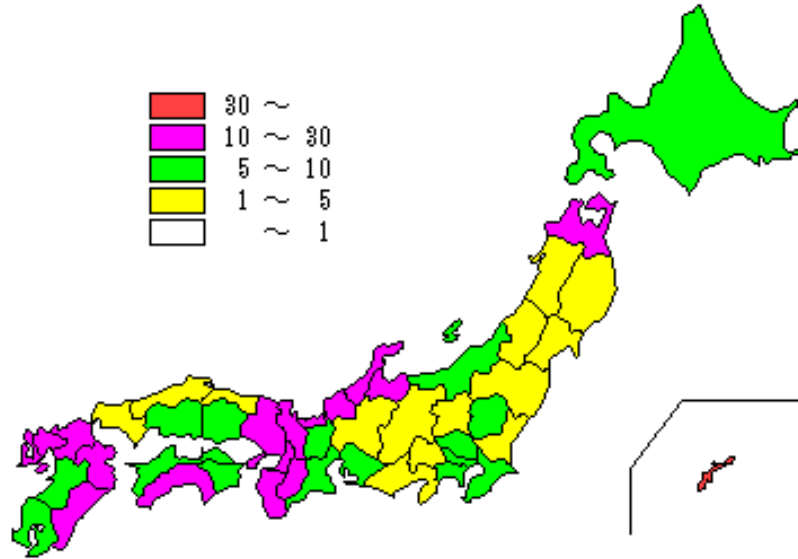
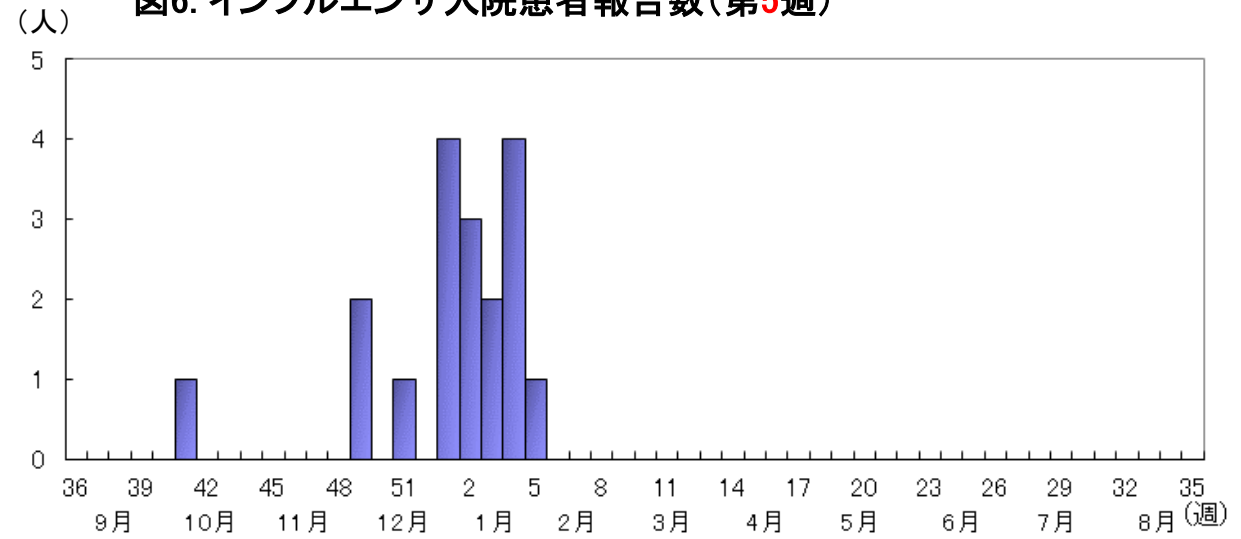


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第5週)



- 全国では第4週に10.36人/定点となり、第3週（9.59）から増加し、注意報発令の基準である10人/定点を超えた。都道府県別（図5）では、16府県で10人/定点を超えている。また、沖縄県では警報発令の基準である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第5週に1例の報告（幼児1例）があった。